

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社ミライ・シア

②施設・事業所情報

名称：にじいろ保育園久里浜コスモス	種別：認可保育所
代表者氏名：井手 千香	定員（利用人数）： 60名
所在地：神奈川県横須賀市久里浜4-7-8 叶ビル4階	
TEL：046-835-2216	ホームページ：like-kn.co.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2003年12月	
経営法人・設置主体（法人名等）：ライクキッズ株式会社	
職員数	常勤職員： 12名 非常勤職員 11名
専門職員	（専門職の名称）保育士 19名
	栄養士 2名
	調理師 1名
施設・設備の概要	（居室数） 保育室 5室 事務室 ホール （設備等） 更衣室 調理室 園児用トイレ1か所 シャワー室 調乳室 エアコン完備 職員用トイレ1か所

③理念・基本方針

- 1) <理念>のびやかに育てだいちの芽<方針>みとめ愛（信頼）・みつめ愛（安定）・ひびき愛（共感）
- 2) 自然を愛し、心身ともに健やかな子ども
- 3) 自分で考え行動し、意欲と根気のある子ども
- 4) 「仲間」と関わり、人を思いやれる子ども
- 5) 自己を表現できる子ども

④施設・事業所の特徴的な取組

ビルの4階にあり、ワンフロアで年長さんが年少さんのお世話を自然にしてくれたり、年少さんたちは年長さんに憧れを抱き自分もあんな風になりたいと、成長のモデルにしています。定員60名のため、どの保育士も子ども達全員の名前や性格まで把握している、とてもアットホームな保育園です。

また商店街の中にありますので、町内のお祭り・商店街のイベント・久里浜の花火大会の時は、園の前の道路は歩行者天国となり、沢山の出店がでたり歌や踊りが披露されます。5月は沢山のこいのぼりが、7月は笹飾り、12月はイルミネーションと商店街の借景が子ども達を楽しませてくれます。また、三浦半島に位置しているので、海にも歩いて行く事が出来たり、広い公園が近くにあったりとお散歩選びにもことかきません。にじいろ保育園の『みとめ愛・みつめ愛・ひびき愛』の気持ちを大切に、子どもも、ここに集う大人もみんなが心地よく、楽しく豊かに、生活していける事を心掛けています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年 5月 16日（契約日） ～ 2023年3月30日（評価結果確定日）
--------	--

受審回数（前回の受審時期）	3回（2017年度）
---------------	------------

◎総評

◇特長

1 子どもの主体性を育む保育の実践

職員は一人ひとりの子どもを良く観察し、興味や関心、取り組む姿などを把握し、職員間で共有しています。子どもが自ら興味関心を持ったことに、主体的に取り組んだり、遊びに集中できる環境づくりを工夫しています。

日常的に異年齢で生活しており、一緒に遊んだり、生活する中でお互いに譲り合ったり、気遣ったりする体験から、思いやりや感謝の気持ちが生まれ、年齢に応じた役割も自然にできるようになっています。子ども同士話し合ったり、進んで協力し合うようになっています。職員は子どもが自発的に行動し、お互いに大切に思い合える心を育むことができるように努めています。

2 さまざまな保育活動を広げる工夫

園庭がなく、ワンフロアの保育所のため、保育活動を広げる努力をしています。どんな状況（コロナ禍での活動の制限、地域資源の利用減少、夏場の高温時户外活动ができない時など）でも、設備面の制約があっても、「～がないから」「十分なスペースがないから」「この状態では出来ない」と思わずに、どうしたら、子どもも職員も楽しく安全に活動ができるかを、常に検討しています。職員が色々なアイデアを出し合い、連携・協力し合って、積極的に保育活動を広げています。

3 地域との交流

開園当初より、地域に根づく園、地域の中で子どもが育つ園を目指し、熱心に地道な努力を重ねてきました。高齢者施設、商店街、地域住民などと、季節の行事や日常での交流を続けてきました。また地域の未就学児向けに保育体験の機会も定期的に実施して来ました。地域住民が自由に持って帰れるように、子どもが折り紙で作った作品やしおり、給食のレシピ等を保育所の入っているビル1階の階段脇に用意し、毎回好評です。

子どもたちは地域の色々な方と交流したり、社会と関わり、豊かな経験を重ねています。

◇今後期待される点

1 中長期計画と事業計画のつながり

園として向こう3年間の見通しを立てた中長期計画を策定しています。書式は本部で設定した系列園共通のもので、大きく4項目に分けられています。そして毎年内容を見直し、常に3年間を見据えた運営をするような仕組みになっています。一方、単年度の事業計画も策定されていますが、内容は毎年度実施する項目が中心で、その年度の重点取り組みなどがわかりづらくなっていました。また、中長期計画とのつながりという点においては十分ではない部分もみられました。これら2つの計画につながりを持たせて、連続性のある計画と実践になることを期待します。

2 職員の計画的な採用と育成

開園して18年目を迎え、当時から在籍していた園長をはじめ、在籍期間の長い職員がいることは評価できる点です。しかし、昨今の保育園業界を取り巻く環境が変化してきており、若手の職員の確保が年々難しくなっています。また、周辺には新しい保育園も開園しており、園児獲得の競争も以前に比べると激しくなっています。このような中で、園を確実に継続していくための人材の確保は重要なテーマといえます。本部と連携し、計画的に取り組んでいくことを期待します。また、採用後の育成に関しても一人ひとりの意向に沿ったものとなることが望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

にじいろ保育園の保育方針である『みとめ愛・みつめ愛・ひびき愛』の気持ちを、コスモス園に集う子どもも保護者も保育士、職員の誰もが大切にしながら過ごせる日常があれば、子どもたちが暖かな気持ちをもって育っていく、と信じて保育にあたってきました。保護者の皆さま、地域の方々に支えられて、毎日が豊かに過ごせることに感謝をしております。

子どもたちも幼児期の最終段階へ向け主体的な考えや行動がとれるように援助していますが、保育士自身も主体性を持ち、保育士自身が保育目標に沿った人間像であるかどうか、いつも振り返るように心がけてきました。週毎、月毎の保育の振り返りは各担任が行っていますが、年間の総括は園長を中心に主任・副主任で行い、次年度の保育の展開を考えてきました。今回指摘のあった「中長期計画」と「事業計画」のつながりについて、確かに弱いと感じていたところにアドバイスを頂く形となったことで、令和5年度の保育士の学びについてもう一度原点に立ち考えることが出来ました。今後は、研修担当を主任・副主任・リーダーに分散させ年間計画に組み込んでいく形をとり、実行に移していきたいと思っております。これからも、一人ひとりの子どもの育ちを支え、みんなが楽しい保育園であるよう職員一同、手を取り合い、心を尽くして参ります。また、近隣の商店等地域の方からも保護者の皆様からも、愛される保育園であるよう努めて参ります。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり